

2004年度 決算説明会



2005年6月3日
日産車体株式会社
代表取締役社長 高木 茂

将来予測について

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいて算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる可能性があります。

なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素としては、主に以下のようなものがあります。

主要市場における経済情勢および需要の変動

原価低減や設備投資を計画どおり実施する当社の能力

主要市場における貿易規制等の各種規制

主要市場における政治情勢

適宜、新製品を開発し市場へ投入する当社の能力

当社が事業活動を行ううえで生じる当社の責めに帰すことのできない様々な障害

アジェンダ



1 . 2004年度 振り返り

2 . 2005年度 見通し



1 . 2004年度 振り返り

2004年度 売上台数



(単位：千台)

	04年度	03年度	増減	増減率
ピックアップ	79.9	67.9	12.0	17.7%
エルグランド	38.3	33.4	4.9	14.7%
サファリ	32.0	28.9	3.1	10.7%
A Dバン	44.0	41.4	2.6	6.3%
セドリック	7.1	5.8	1.3	22.4%
キャラバン	50.9	49.8	1.1	2.2%
インフィニティFX	33.7	32.8	0.9	2.7%
ウイングロード	30.9	46.4	15.5	33.4%
リバティ	7.5	18.8	11.3	60.1%
クルー	3.1	3.8	0.7	18.4%
アベニール	2.3	2.7	0.4	14.8%
エキスパート	5.0	5.3	0.3	5.7%
シビリアン	3.9	3.9	0.0	0.0%
合計	338.6	340.9	2.3	0.7%

2004年度 連結損益



(単位：億円)

	04年度	03年度	増減	増減率
売上高	5,820	5,808	12	+0.2%
営業利益	279	279	0	+0.0%
売上高営業利益率	4.8%	4.8%	+0.0%	-
経常利益	273	261	12	+4.5%
当期純利益	185	151	34	+22.4%

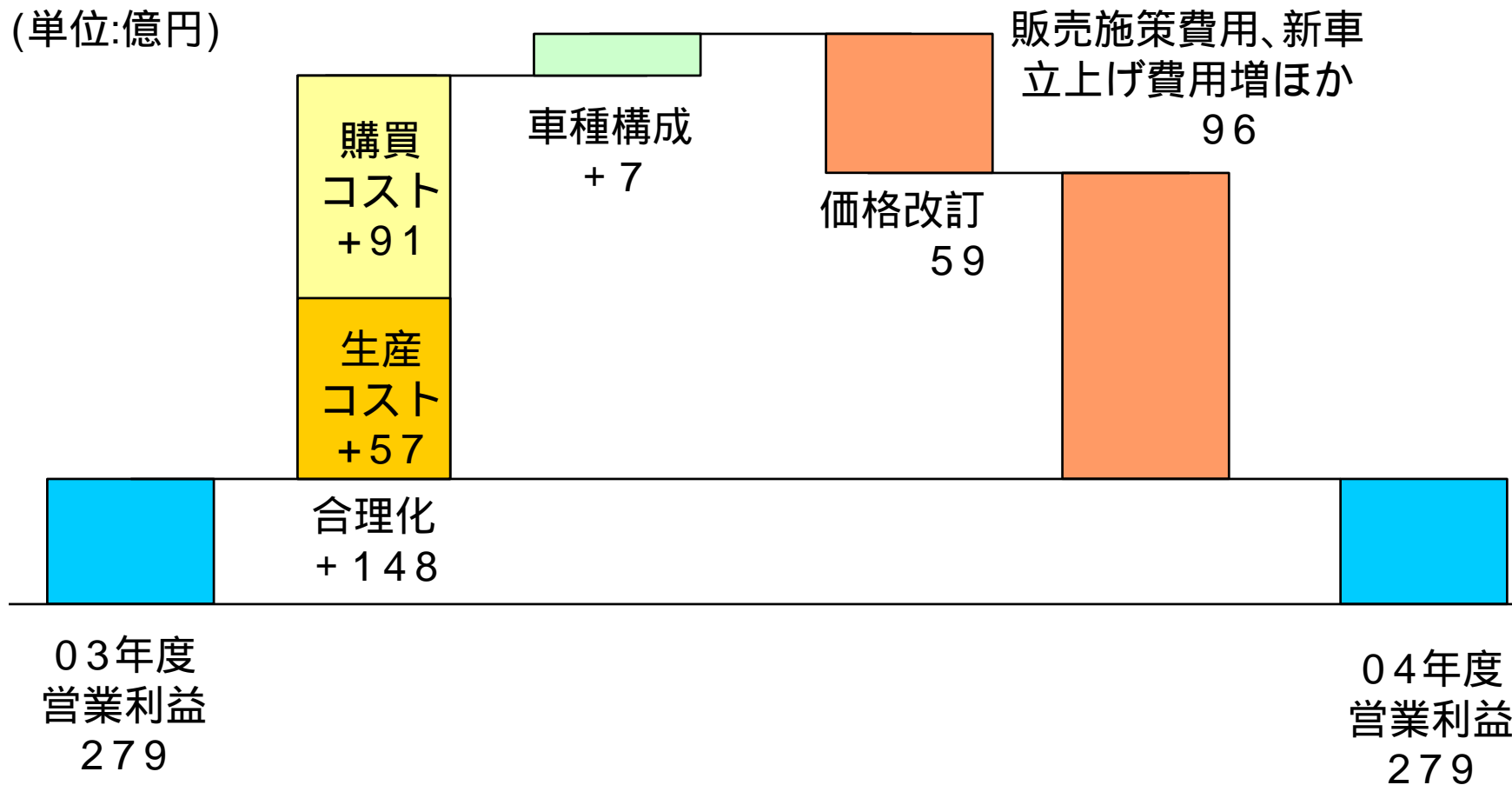
(売上台数) 338.6千台 340.9千台 2.3千台 0.7%

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに過去最高

営業利益増減要因分析



(単位:億円)



03年度対04年度 経常利益・当期純利益



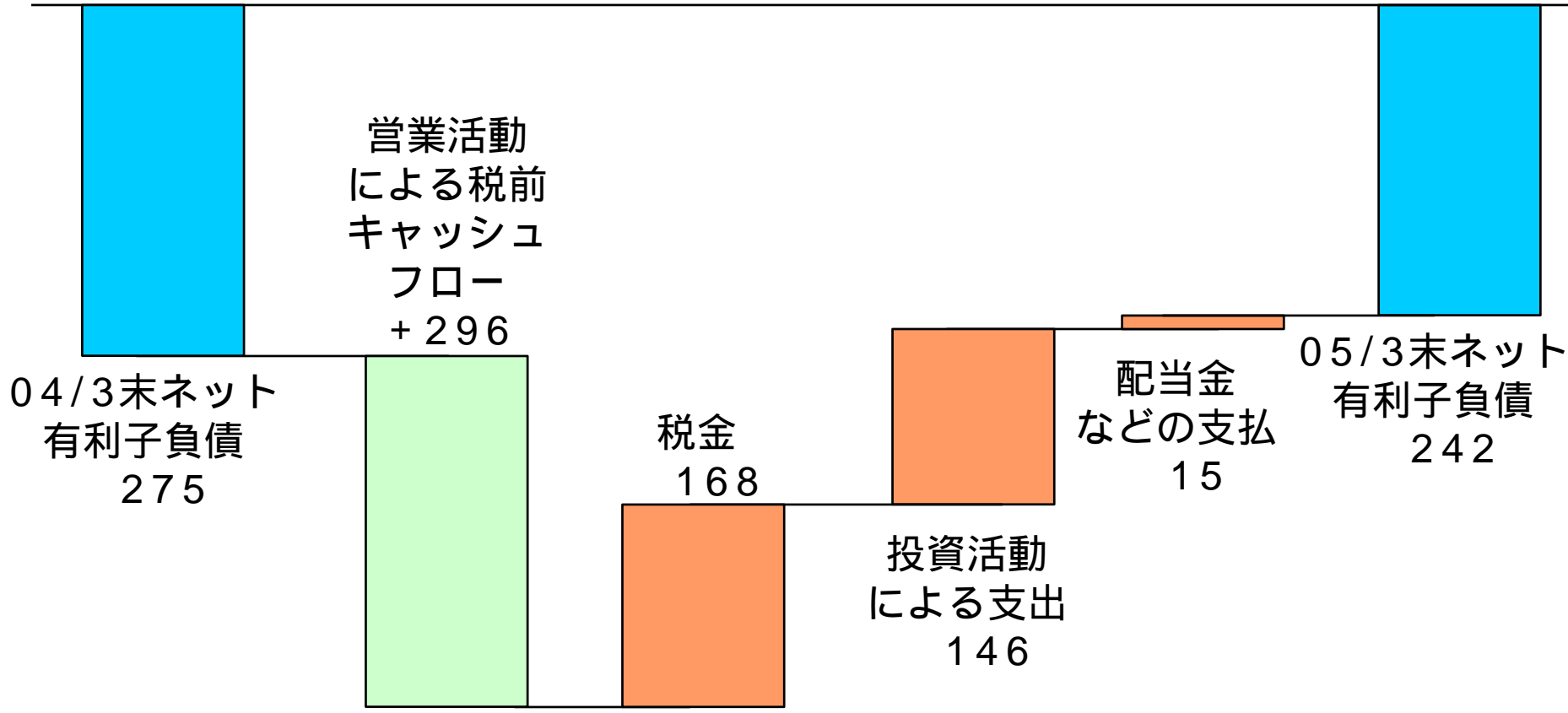
(単位:億円)

摘 要	増減
厚生年金基金の代行返上による退職給付費用の減等	12
経常利益の増加(261 273)	12
固定資産売却益の増(24 48)	24
金型補償損の減による益	30
厚生年金基金の代行返上益の減	23
法人税の増ほか	9
当期純利益の増加(151 185)	34

ネット連結有利子負債



(単位:億円)





2 . 2005年度 見通し

2005年度 連結損益見通し



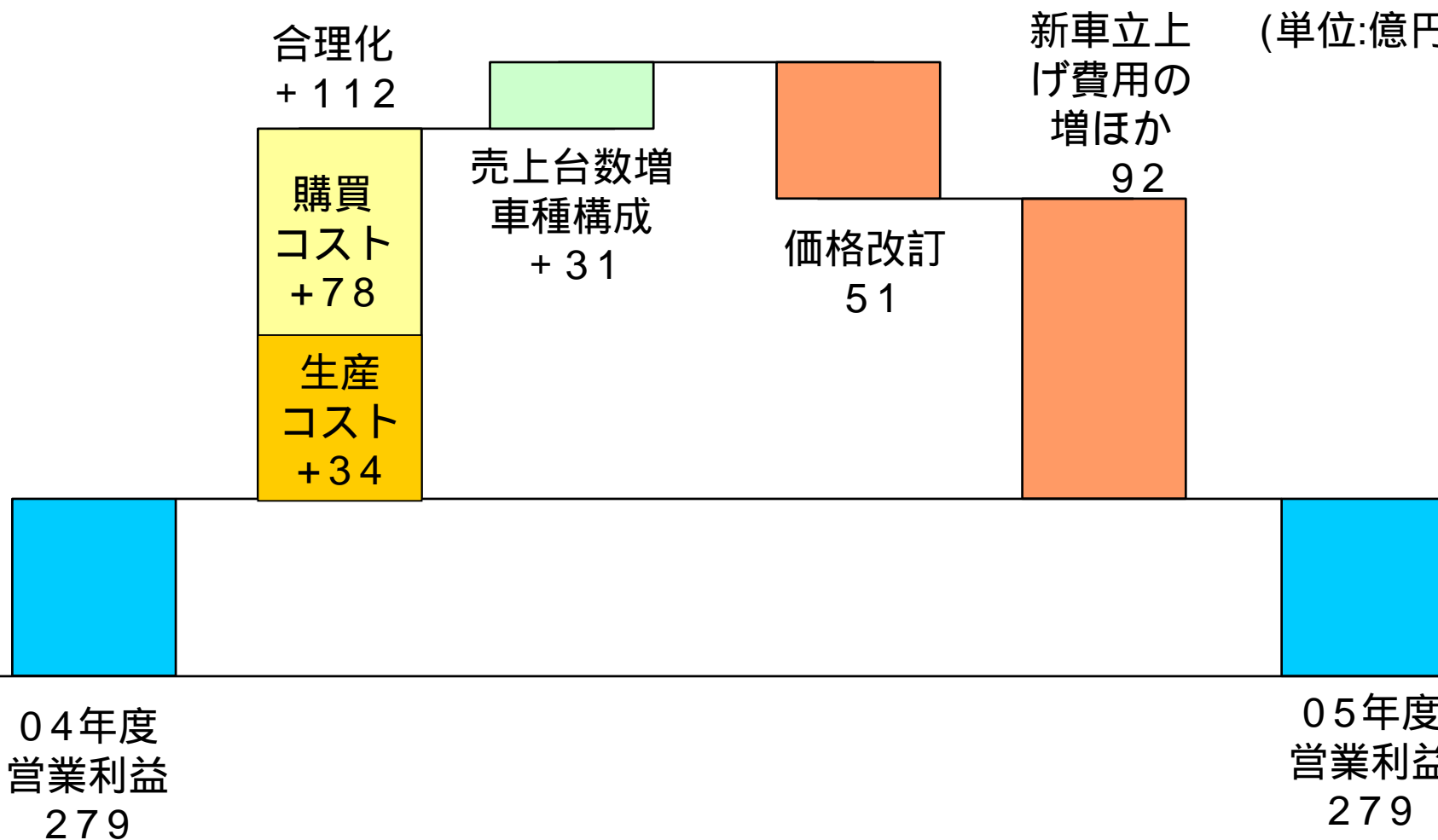
(単位：億円)

	05年度(予想)	04年度実績	増減	増減率
売上高	6,600	5,820	780	+13.4%
営業利益	279	279	0	+0.0%
売上高営業利益率	4.2%	4.8%	0.6%	-
経常利益	273	273	0	+0.0%
当期純利益	176	185	9	4.9%
(売上台数)	379.0千台	338.6千台	40.4千台	+11.9%

営業利益増減要因分析



(単位:億円)



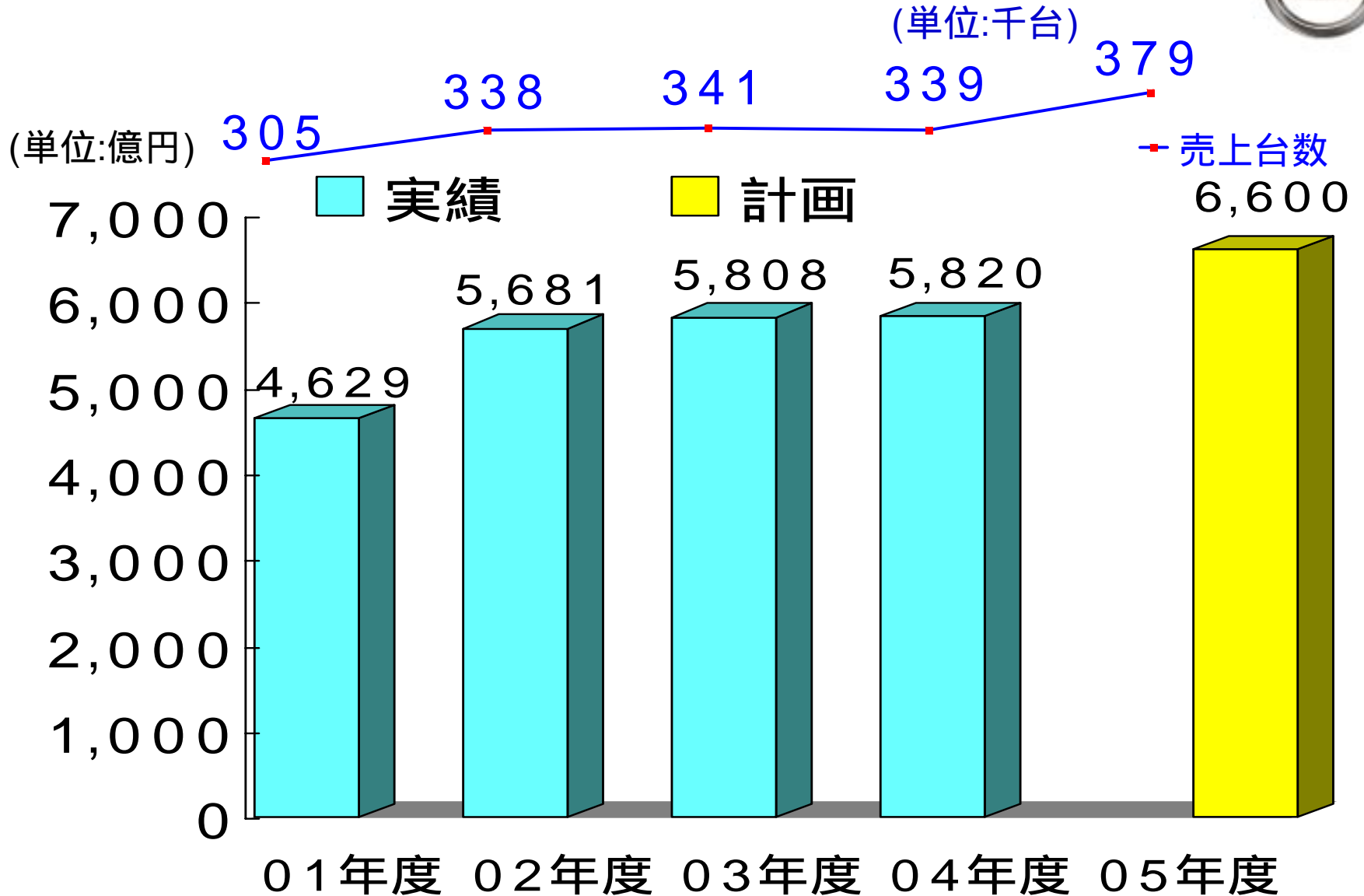
04年度対05年度 経常利益・当期純利益



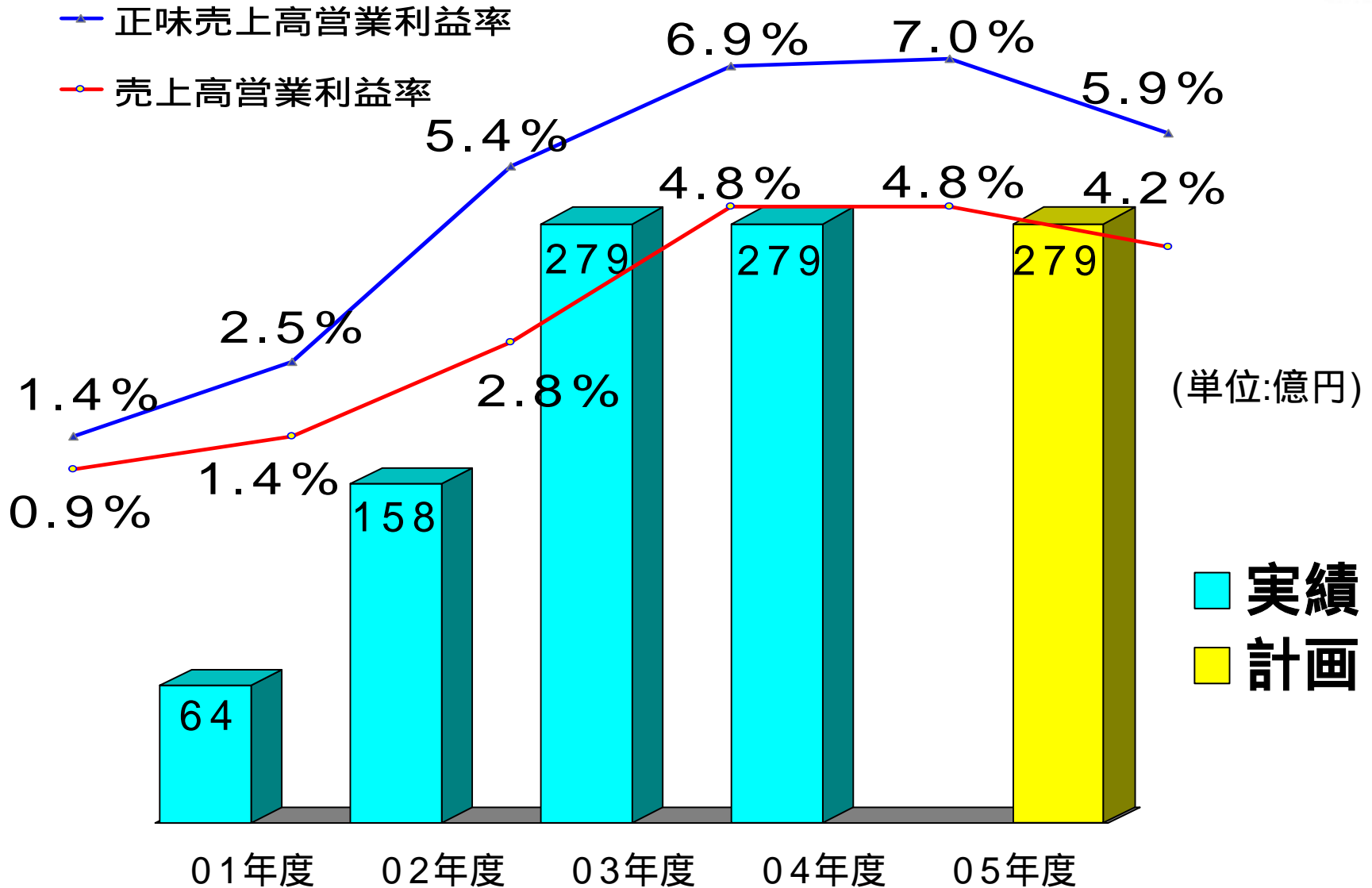
(単位：億円)

摘 要	増減
営業利益 (279 279)	0
経常利益 (273 273)	0
確定拠出年金制度導入による退職給付引当金取崩益ほか	36
固定資産売却益の減(48 3)	45
当期純利益の減少 (185 176)	9

売上台数及び連結売上高推移



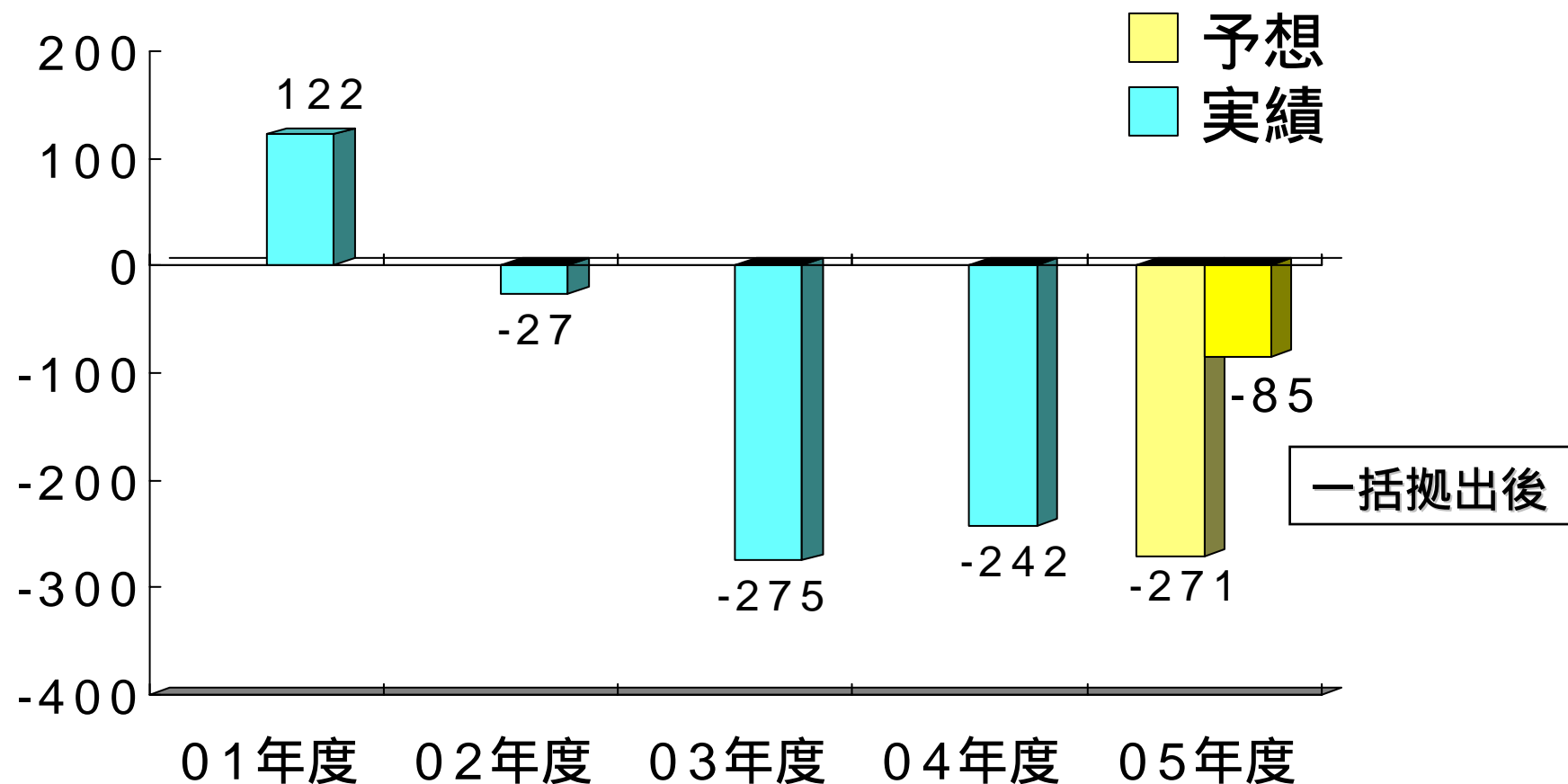
連結営業利益推移



ネット有利子負債推移



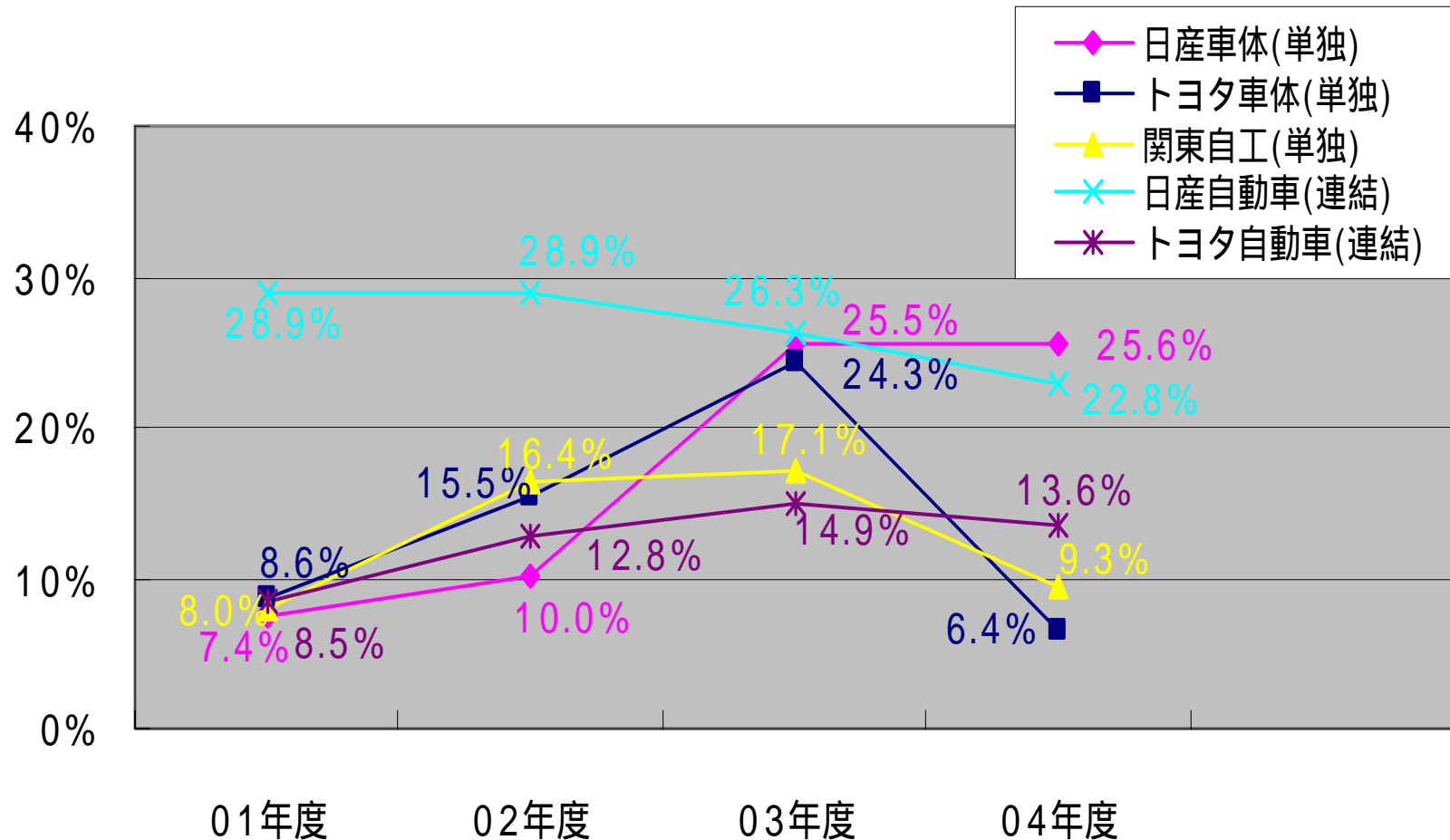
(単位:億円)



株主資本利益率推移



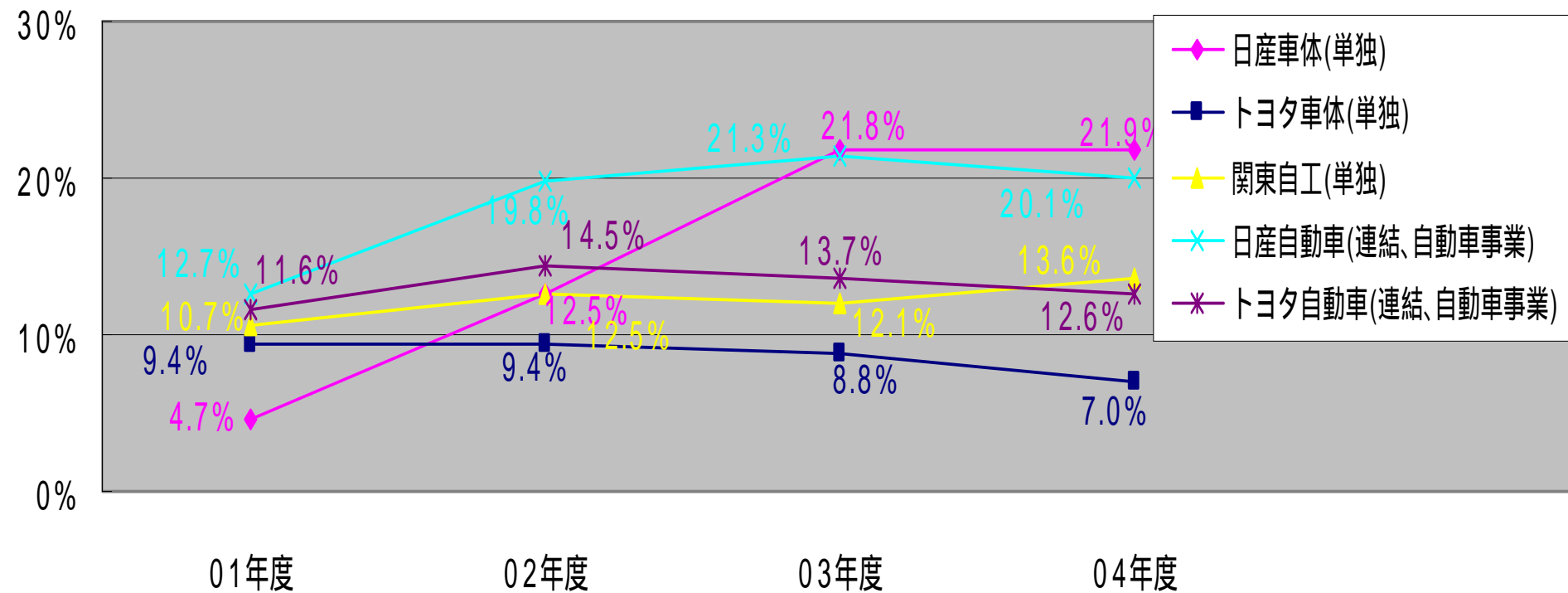
< 株主資本利益率(ROE) > 当期純利益 ÷ 株主資本



投下資本利益率推移



< 投下資本利益率 (R O I C) > 営業利益 ÷ 投下資本



株主資本比率推移



〈株主資本比率〉 株主資本 ÷ 総資本

